

西神戸医療センター皮膚科院内フォーミュラリー (エビデンス・補足)

○皮膚そう痒症

参照ガイドライン：日皮会誌：122 (2), 267-280, 2012 (平成 24)

皮膚そう痒症の治療としては「湿疹を伴っているか、伴っていないか」で、ステロイド外用のエビデンスが異なる。従って、湿疹の有無で推奨を分ける。湿疹を伴っている場合は「皮膚そう痒症」＋「皮脂欠乏性湿疹」、湿疹を伴っていない場合は「皮膚そう痒症」＋「皮脂欠乏症（皮膚乾燥を伴っている場合）」とする。

○接触皮膚炎

接触皮膚炎診療ガイドライン：日皮会誌：119 (9), 1757—1793, 2009

急性の湿疹であり、比較的強いランクのステロイド外用を必要とする。

(注：ステロイド外用のランクについては、ガイドラインに記載はない)

○アトピー性皮膚炎など全身の皮疹

アトピー性皮膚炎診療ガイドライン 2018：日皮会誌：128 (12), 2431-2502, 2018

ステロイド外用の範囲が広範囲にわたることより、大量に外用する場合は Strong クラスのステロイド外用薬を推奨するが、重症度に応じて Very Strong クラスを用いてもよい。Strong クラス以上のランクでは 1 日 1 回と 2 回外用の効果に有意差はないとするランダム化比較試験がある。